

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点でもある「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

- 人にやさしく … みんなで学び合い、高め合おうとする風土の育成。
- 自ら考え … 課題に対して自ら考えを出し、判断しながら学ぶ主体的な学習活動の実践。
- 行動する … 考えたことを実現できる行動力の育成。

【現状と課題】

- 視点1 課題発見→解決→ふり返りの流れを意識した授業スタイルのさらなる定着。書く力・読み解く力の充実。
- 視点2 考えや思いを言葉にし、方法や手段を選んで積極的に発信できる力の育成。
- 視点3 生活科・総合的な学習の時間の教材研究の深化、充実。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○課題発見→解決→ふり返りの流れを意識した授業サイクルの定着(共通実践) 学習の始めに、「今日のはてな」という疑問形の学習問題を子どもたちと共に考え、読み解く力の視点を踏まえて、その答えを全員で導き出すことができるよう、授業展開を工夫する。 ○文字数指定の用紙を活用 自分の考えを文章でまとめることができるよう、学年の実態に合わせて、文字数を意識した書き表し方を意識する。	・「今日のはてな」「まとめ」「ふり返り」の使用率80%(強い肯定率40%)以上		
	・「ふりかえりカード」の使用率70%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○対話モデルの活用 対話モデル(キャッチボール型→卓球ダブルス型→バレーボール型)を使い、考えや思いを言葉にする対話活動に親しむ。 ○発信する力の育成 スクールESDくさつを意識した生活科・総合的な学習の時間を通して、方法や手段を選んで積極的に発信できる力を育成する。	・対話モデル実践率70%(強い肯定率20%)以上		
	・草津市アンケート:自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。実践率80%(強い肯定30%)以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○教員の自己チェックシートの活用 校内研究会の際に、授業展開の共通実践等の観点について自分の実践を振り返り、次につなげる。 ○生活科・総合的な学習の時間の充実 スクールESDくさつの理念を理解し、地域から教材を探したり、学校外へ発信したりする活動展開を作り出す。 ○おこしやす授業 日常の授業を積極的に公開することで、公開する側も参観する側も双方の授業力向上を図る。	・生活科・総合的な学習の時間に対する教員の満足度70%(強い肯定率30%)以上		
	・おこしやす授業 前期4回・後期4回以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・5月の校内研究全体会で、学力向上推進リーダーより「我が校の学力向上策」について説明を行い共通理解を測る。
- ・月に一度、校内研究会の場で「我が校の学力向上策」に準拠した自己チェックシートの記入を行うことで、各教員が向上策を常に意識し、授業の改善につなげる。
- ・「我が校の学力向上策」を学校ホームページに掲載し、保護者や地域に発信する。

今年度の取組の成果と課題

--